

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2024 年 11 月 15 日
事業所名:	夢門塾海老名

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	3	3	1	・限られたスペースで狭く感じないよう、配置を工夫している。 ・もう少し広さが欲しい。 ・机イスの配置を工夫している。活動内容によってはもう少し広い方がよい。 ・公文の個室が狭い。
	② 職員の配置は適切である	1	2	4	・送迎職員を増やしたい。 ・送迎可能な職員、有資格者が不足している。 ・職員不足なので入れて欲しい。
	③ 衛生面の管理が行き届いている	6	1		・手洗い、消毒を徹底している。 ・麦茶の賞味期限(2日)を作成日付表示で徹底。調理器具、カトラリー、食器、ふきん、ダスターの衛生徹底実施。 ・トイレ、水回りの消毒実施。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	6	1		・毎日のミーティングで周知徹底を図り、役割分担の明確化。メモの実践。 ・毎日のミーティングで、全職員が参加。毎月の定例会議では正職、パート(有志)が参加。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	5	2		・ご意見を反映させ、実施可能な限り行っている。 ・未経験の為、回答不可。
	⑥ 自己評価の結果を公開している	3	4		・未参加(未実施)。 ・未経験の為、回答不可。
	⑦ 職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	5	2		・確保している。
適切な支援の提供	⑧ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	4	2	1	・自発官赴任後は、しっかりできている。 ・計画表のP.Dを中心に参加していないので、C.AIにも入っていけたらと思っている。
	⑨ 活動の計画をチームで行っている	5	2		・毎月の定例会議で周知、意見を出し合っている。 ・未参加。(パート職員)
	⑩ 活動の計画が固定化しないよう工夫している	5	2		・毎月の教室会議では、全員意見を出し合っている。 ・季節行事以外は定型化するが、それ以外は変化が出るようにしている(職員からのアイデア、朝礼での他教室の活動内容を参考、YouTubeを参考等)。 ・立案には参加していないので。
	⑪ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	5	1	1	・平日には短時間で集中して(学べる・楽しめる)内容。・長期休暇中は公共交通機関の乗り方が学べる外出、感性を養う多量の博物館利用、身体の健全な育成に寄与できる公園活動、時間をかけて作る昼食調理等を行っている ・未経験の為、どちらともいえない。(休日、長期休暇)
	⑫ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	5	2		・情緒不安定、疲労、体調不良等、イレギュラー対応も含めた活動を計画している。 ・未参加(未実施)。
	⑬ 支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			・非常勤も含め、毎日打ち合わせを行っている。
	⑭ 日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1		・出来るだけ記録するように心がけている。
	⑮ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	2	5		・自発官の状況で回数の変動はあるものの出来ている。
	⑯ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	4		・ご利用児の健全な育成、成人期に入るまでに身に着ける事柄等を考慮し、活動を立案。立案した内容が5領域の内容とバランスよく合っているかも検証して計画している。 ・就業間もない為、現状を把握しきれっていないので、日進月歩で取り組みます。

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有（年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4	3		・情報共有に関しては、ご家庭を通じて、【学校だより】【月の予定表】で行い、一部、直接行っている。 ・連絡調整に関しては、しっかりできている。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	2	4	1	・児童発達支援事業所がついている方は担当者会議のより、情報共有、相互理解に努めている。（保護者、他放デイ、児童発達支援事業所のみ） ・セルフプランのご利用児に関しては難しい。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	1	5	1	・管理者引継ぎなかったため、回答不問。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	5	1	・行っていない
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	5	2		・コドモン連絡帳を通し、また、送迎時に直接お会いした時にも行っている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	3	3	1	・基本的にはご契約時に行い、変更、追加があった場合は都度行っている。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	4	2	1	・コドモン連絡帳を通し、また、送迎時に直接お会いした時にも行っている。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	4	1	2	・1回/年行っている。今後は回数を増やし、より連携を強めていけるよう尽力したい。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	2	1	・社内規定に則り、まずマネージャーへ報告し、対応している。・教室内での構造化という点では、確立できていない。場当たりの対応を改め、確立したい。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	3	2	2	・行なっている。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	6	1		・行なっている。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	2		・資料での情報伝達が難しい場合は、電話、若しくは直接お会いして行っている。 ・母国語が違う場合は、お相手の母国語で出来るよう努めている。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	1	3	3	・地域の公園でのコミニティーを行っている。・ご利用児を受け入れ、理解していただくため、今後、地域へ参加する機会を増やしていきたい。
非常時などの対応	㉚	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	4	2		・適宜行なっている。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	6	1		・地震や災害を想定し、訓練を行っている。・毎月、活動として定期的に行っている。・（予期せぬ出来事）という特性を考慮して、日々の活動の中にもシークレット避難訓練を盛り込んでいる。
	㉜	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1		・行なっている。
	㉝	いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	5	2		・行なっている。
	㉞	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	5	1	1	・行なっている。
	㉟	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	6	1		・行なっている。
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
<p>・就業して間もないが能力が至らず、また、未実施のことも多い。指導という目線を中心に、日々学び、習得していきたいと思う。</p> <p>・送迎職員不足の為、スポット利用の呼びかけができず、急な欠席の補填が出来ない。・保護者からご要望が多い外出行事も控えざるを得ない為、早い時期での職員補充を希望。</p>						